

# 午後入院の促進について

1

令和2年11月11日（水）

総合サポートセンター

## 午後入院を促進していく理由

- ▶ 地域の医療機関から紹介された、当院での入院治療を必要とする患者さんに、より一層、速やかに質の高い安全・安心な医療・看護を提供していきたい。
- ▶ そのためには、これまで以上、効率的に病床を活用し、適時に紹介された患者さんを受け入れられるようにしていく必要がある。
- ▶ 具体的には、治療が終了した患者さんが午前中に退院した場合、入院予定の患者さんをその日の午後に受け入れられるようにしていく。

⇒午後入院の促進

# 午前退院・午後入院の現状

## ■ 午前退院の現状

平成28年度は50.9%⇒平成30年度は59.8%

⇒患者さんからの理解を得ながら午前退院の取組を継続

## ■ 午後入院の現状

令和元年9月末現在、予定入院患者の午後入院の比率は25.0%

⇒午後入院の比率を高めるための方策を検討

# 午後入院の比率向上に向けた課題

- ▶ 【予定入院患者の持参薬の確認】
- ▶ 【麻酔科医師の術前診察】
- ▶ 【病棟における看護業務】

⇒午後入院が増加した場合、入院当日に実施している上記業務を限られた時間内に終了させることが困難になる！

# 午後入院の比率向上に向けた方策

- 効果的な持参薬の確認  
⇒ 予定入院患者の持参薬確認を 1 週間前に実施（併せて看護面談も実施）
- 効率的な麻酔科術前診察の実施  
⇒ 事前を取得した麻酔問診票を活用した麻酔科術前診察の実施
- 午後入院に対応可能な病棟業務の見直し  
⇒ 病棟において午後に実施している業務を午前中の実施に変更するなど

# 到達目標（令和元年度～令和4年度）

- 【午後入院比率】  
⇒ 予定入院患者の午後入院の比率を25.0%から62.5%に向上
- 【持参薬の確認】  
⇒ 持参薬のある予定入院患者の1週間前の持参薬確認と看護面談の実施率を100%に維持
- 【午後入院に取り組む診療科】  
⇒ 麻酔科術前診察が必要な患者の午後入院に取り組む診療科を1診療科（外科から段階的に11診療科に拡大

# 実績

【持参薬の確認及び看護面談】令和2年4月20日から取組開始

4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
69件	252件	292件	344件	254件	262件	1,473件

【午後入院後の麻酔科術前診察】令和2年5月1日から外科（乳腺）  
において取組開始

4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
－件	13件	9件	8件	13件	16件	59件

## 今後の取組

- ▶ 【1週間前の持参薬確認と看護面談】

⇒概ね定着してきている。今後、取組の評価を実施し、必要な改善を加えながら、より円滑に実施できるよう取組を進める。

- ▶ 【午後入院に取り組む診療科の拡大】

⇒件数は多くないものの外科（乳腺）における取組は概ね定着してきている。  
現在、当該取組を踏まえ、外科系診療科の拡大に向け院内の担当部署内で調整中。  
今後は、内科系診療科における午後入院についても検討を進めていく。